



職業教育・キャリア教育の推進

[今後の方向と目標]

社会構造が大きく変化し、雇用の多様化・流動化が進む中、フリーターなどの若年者の不安定就労や、いわゆるニート⁸と呼ばれる若者の存在が社会問題となっている。子どもたちが「生きる力」を身に付け、様々な課題を乗り越えていくたくましさを持ち、社会の変化に流されることなく、社会人・職業人として自立していくためには、子どもたち一人一人が望ましい勤労観、職業観を身に付けることができるよう、職業に従事するために必要な知識、技術、態度を修得させることを目的とした職業教育、望ましい勤労観、職業観を育てるキャリア教育を充実することが求められている。

このため、子どもたちの発達段階に応じて、学校の教育活動全体を通じた組織的・系統的な職業教育・キャリア教育の充実に取り組む。その際、職場体験やインターンシップなどの体験活動を取り入れるとともに、実践的な職業教育を行う専修学校・各種学校との連携を深め、子どもたち自身が学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感し、将来について考えるよう支援する。

特に、以下の事項を、取組に関することをはじめとした具体的な目標とする。

地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」……全公立中学校2年生を対象

取組プログラム100：地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」の全公立中学校、中等教育学校、市立特別支援学校（中学部）（2年）での実施

「ひょうごの匠」の派遣による中学生の学校での体験学習の推進

取組プログラム100：「ひょうごの匠」の派遣による中学生体験生徒数毎年2,200人

高校生就業体験事業 - インターンシップ推進プラン - の実施

……全県立高等学校等の2年生中心から1年生にも拡大

取組プログラム100：高校生就業体験事業 - インターンシップ推進プラン - の全県立高等学校での実施

「ひょうご匠の技」探求事業……全県立工業高等学校に拡大

「ひょうごの達人」招聘事業……職業に関する学科を設置する全県立高等学校に拡大

「ものづくり大学校」（仮称）の整備（平成23年度から順次供用開始）

取組プログラム100：ものづくり大学校の整備（平成24年度まで）

県立特別支援学校における就労体験活動の実施（はばたきサポート（後期中等教育の充実事業））……高等部を設置する全県立特別支援学校を対象

[施策の取組]

生徒の社会的自立を促す教育としてのキャリア教育の視点に立って、「トライやる・ウィーク」の取組の充実を図る。

近年、若年層を中心にものづくり離れが顕著になっており、技能後継者の確保難が懸念され

⁸ ニート……Not currently engaged in Employment, Education or Training の略語。「若年無業者（学校に通学せず、独身で、収入を伴う仕事をしていない15～34歳の個人）」のうち就職したいが就職活動をしていない者または就職したくない者。

ていることを踏まえ、中学生に技能の大切さや魅力を理解させるため、「ひょうごの匠」キャラバン隊派遣事業を実施する。

「はばたきサポート」の調査研究の結果を踏まえ、職業学科を見直し、社会の変化や生徒の障害の状態に応じた適切な職業教育の充実を図る。

県経営者協会、能力開発協会等の関係団体と連携しながら、高校生の事業所でのインターンシップの実施をめざす。

高度熟練技能者を招聘する「ひょうご匠の技」探求事業を実施することで、ものづくりの技術・技能に興味・関心の高い生徒を育成するとともに、その能力を伸ばし、実践的工業技術者を育成する。

各学校の実態に応じた専門家を招聘する「ひょうごの達人」招聘事業を実施することで、生徒の高度な資格取得やスキルアップを支援する。

中学卒業者の進路選択の幅を広げ、後期中等教育の多様化に資するため、私立専修学校高等課程に対する補助を行う。

先進的で特色ある教育の推進と職業教育・専門教育の充実強化を図り、その振興に資するため、私立専修学校専門課程に対する補助を行う。

ものづくりの現場を支える人材の育成と、子どもたちがものづくり体験を通して、その楽しさ、大切さを理解し、職業意識の醸成を図ることを目的として、「ものづくり大学校」(仮称)を整備し、その活用を図る。

次代の農業を担う後継者や地域農業リーダー等の担い手の確保は農業の大きな課題であり、農業大学校において人材の養成・育成に努める。

1 自立的に生きる力を培い、創造性を伸ばす教育に取り組みます

[これまでの主な取組]

地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」

「生きる力」を育成するとともに、学校・家庭・地域社会が一体となって心の教育の充実を図るため、公立中学校（中等教育学校前期課程、市立特別支援学校中学部を含む）2年生が、1週間、地域や自然の中で様々な社会体験活動を行う。

「ひょうごの匠」キャラバン隊派遣事業（「ひょうごの匠」ものづくり体験事業）

現役で活躍するトップクラスの技能者である「ひょうごの匠」を県内中学校20校に招聘し、職種毎に講話や実演を行うとともに、生徒自身の手でのものづくり体験をすることにより、技能の大切さや魅力を理解させる。

後期中等教育の充実事業（はばたきサポート）（～H21）

地域や学校の実情に応じ、就労をめざす特別支援学校高等部の生徒に対し、作業学習等の指導内容・方法の一層の充実を図り、就労を見据えた職業教育等の充実に関する調査研究を実施する。

高校生就業体験事業 - インターンシップ推進プラン -

全県立高等学校2年生中心に、将来めざす職業にかかわる職場や地域の企業等におけるインターンシップを実施し、望ましい勤労観、職業観を育成する。

「ひょうご匠の技」探求事業

全県立全日制工業高等学校12校に実技指導のための高度熟練技能者を招聘し、実践的な指導を通して、ものづくりの技術・技能に興味・関心を高め、その能力を伸ばし、特に地域産業界に貢献できる実践的な工業技術者を育成するとともに、教職員を対象とした技能伝承研修会を開催し、教員の専門技術・技能の質的向上と教育力向上を図る。

「ひょうごの達人」招聘事業

職業に関する学科を設置する県立全日制高等学校24校を対象に、実習や課題研究等の実技指導に専門家を招聘し、生徒の高度な資格取得やスキルアップを支援し、職業に関する学科をもつ高等学校における特色づくりを推進するとともに、教職員を対象とした技能伝承研修会を開催し、教員の専門技術・技能の質的向上と教育力向上を図る。

私立専修学校に対する補助

- ・私立専修学校高等課程振興費補助：後期中等教育の多様化に資することを目的に、修了者に大学入学資格が付与される高等課程を設置する私立専修学校に対し、その学校運営基盤の強化を支援するため、経常的経費に対する補助を行う。
- ・私立専修学校専門課程振興費補助：私立専修学校の国際化、高度情報化、技術化への対応など先進的で特色ある教育の推進と職業教育・専門教育の充実強化を図り、その振興に資するため、経常的経費に対する補助を行う。

農業大学校

農業技術の高度化、経営の専門化に対応し、現代的な農業経営を行うために必要な知識・技術・経営管理能力及び組織活動能力を修得させ、次代の農業を担い、地域における農業の振興等に指導的役割を果たす人材を養成する。併せて、新規就農者及び予定者、地域農業の担い手及びリーダーを育成するため、社会人を対象とした各種農業技術研修を実施する。